

アベマキ学校机プロジェクト (岐阜県美濃加茂市)



- ・地域の材に着目し、その特徴を活かした天板の制作
- ・小学生が木から天板になるまでの過程を経験
- ・毎年、新1年生に贈呈するという継続性のある仕組み

アベマキ学校机プロジェクトとは、美濃加茂市が掲げる「里山千年構想」に基づいた里山資源活用事業の1つです。地域の里山に群生しているアベマキを有効活用することとし、その堅さを活かして、小学校の学校机の天板を制作している。制作にあたっては、高学年生が実際に伐採現場、製材所、乾燥施設の見学をし、完成した天板は、6年生がその過程を伝えながら新1年生に贈呈する仕組みになっている。

<目的>

- ・美濃加茂市の里山には広葉樹が多くあり、中でも「アベマキ」の自生がとても多く、その「アベマキ」を利用した木製品を作りあげることで「アベマキ」を「美濃加茂市産材」として、そして「美濃加茂市の里山再生の象徴」として広くPRする。
- ・机ができる過程を知ることや地元の木に毎日触れることで、物を大切にする心・地域の里山を大切にすること、地域の自然に対する心を育むこと

<内容>

- 5年生(22名): 伐倒風景見学
- 6年生(24名): 製材所や乾燥施設見学、森の授業(森の中で森の働き等を学ぶ)、天板の仕上げ体験、天板の取り付け、新1年生への贈呈(仕組み化)

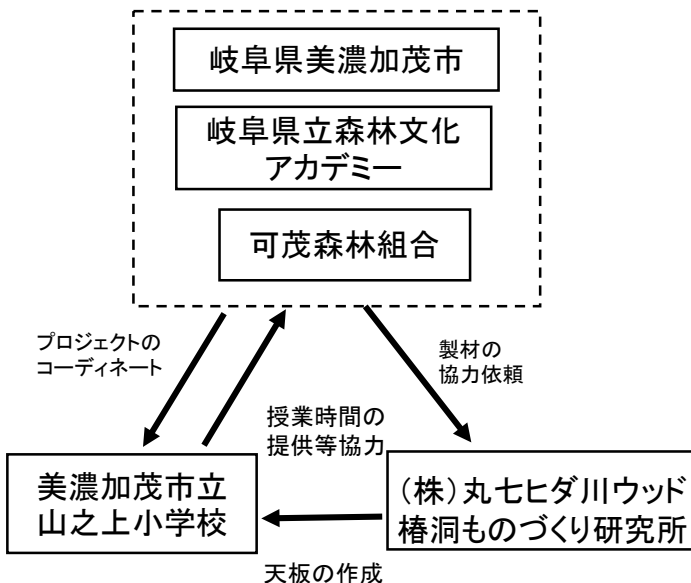


<成果>

- ・アベマキの認知アップ(児童や保護者全員認知)
- ・(製品がつくられる過程を知ることによって)物を大切にすることが育まれた
- ・里山を大切にすることが育まれた
(里山を大切にしなければという発言が聞かれるようになった)



<実施体制>



<関連法令>

里山千年構想
里山基本計画

<経費>

経費: 113千円
財源: ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業(県環境税)
補助率: 1/2
補助の仕組み・対象内容等: アベマキの天板に対する助成

<問い合わせ先>

美濃加茂市産業振興部農林課
TEL: 0574-25-2111(内線331)
<http://www.city.minokamo.gifu.jp/shimin/>

<ここに注目!>

→ 学校机を地域材でつくるというプロジェクトは他地域でもありますが、小学生が伐採現場・製材所等の視察をしっかり行った上で天板づくりをするという例はあまり多くありません。手間はかかるかもしれませんが、子ども達がどこの山から搬出した材で学校机が作られたのかを知り制作に携わることは、非常に有意義な木育体験だと思います。